

平成 26 年度第 1 回古賀市複合文化施設運営協議会会議録

会議名称:平成 26 年度第 1 回古賀市複合文化施設運営協議会

日時:平成 26 年 5 月 30 日(金)13 時 30 分～15 時

場所:サンフレアこが 2 階 視聴覚室

主な議題:①会長・副会長の選出

②平成 25 年度事業実績について

③平成 26 年度事業計画について

④その他

傍聴者数:0 名

出席者:加藤典子委員 今橋省三委員 橋本由里委員 松田信一郎委員 草野三保子委員
長野素子委員 鈴木章委員 松下和正委員 河村正彦委員 以上 9 名

欠席者:0 名

事務局:荒木教育長、吉村教育部長 力丸サンフレアこが館長 梅谷図書館長 村山歴史資料館長
森下文化財係長 中野歴史資料館係長 坂井図書館係長 図書館係三浦 以上 9 名

配布資料:①レジュメ

②古賀市複合文化施設運営協議会委員名簿

③古賀市複合文化施設運営協議会設置規則

④資料No.1、平成 25 年度歴史資料館事業報告、平成 25 年度図書館事業報告

⑤資料No.2、平成 26 年度歴史資料館事業計画、平成 26 年度図書館事業計画

⑥複合文化施設条例・条例施行規則

⑦古賀市生涯学習センター(地域交流センター)及び周辺整備事業(概要)(HP より)

⑧生涯学習推進課からの資料

会議内容:以下のとおり

会長選出までの進行を事務局職員が務める。

事務局より開会のことば

荒木教育長から各委員へ委嘱書の交付。

各委員、事務局職員自己紹介。【自己紹介割愛】

1. 教育長あいさつ

(教育長):本日は蒸し暑く厳しい日射しの中お集まりいただき感謝する。先ほど委嘱書を交付したが 2 年間サンフレアこが運営についてご意見をいただきたいのでよろしくお願ひしたい。昨年まで研修棟建替えについていろいろご意見をいただいたが、いよいよ今年は施工に入る。新しい古賀の顔となる生涯学習センターをいよいよ立ち上げるようになって来た。併せて図書館の増床、周辺道路等の整備も計画している。古賀市としては久しぶりの大型の建築で市民の皆さんに喜んで来ていただく施設になるのではないかと思う。そういったことについてもご意見があれば後ほどお聞きしたい。法律上、市立図書館には運営協議会は必置ということになっており、古賀の場合は一緒に建物で

ある図書館と歴史資料館を協議していただくということで、複合文化施設運営協議会を発足した。したがってこの協議会は権威ある条例等にのっとった協議会であり、ここでのいろいろなご意見を私どもは拝聴することになる。よろしく願いたい。

図書館は市民の利用率も高く評判がよい。広域利用をやっているが近隣から古賀市立図書館に来ることが多く、反対に古賀市民が近隣の図書館に行くことは少ない。各図書館の特色ある資料を相互に利用していただくことが大事ではないかと思っている。また、学校のネット利用を進めており、各小中学校の図書室からネット検索できるようになっている。これは、学校図書館が地域の図書館となっていくということで、今後 IT 時代になりこのような利用が増えていくのではと思っている。もうひとつは、うちの図書館はたくさんの市民に喜んで来ていただくために、非常にたくさんの催しをしている。これはよそにない。図書館では、忙しい中、講座などのいろいろな催しをして、たくさんの市民の方においでいただくということをやっており、また、今日おいでいただいている地域の文庫も古賀市は非常に盛んで、ボランティアの方が子どものためのおはなし会を開くなどいろいろな活動をしていただいている。その活動の拠点が図書館となっている。後ほど、今年度の計画等の説明があるが、新しいご意見もいただきたい。

歴史資料館については、ご存知のとおり古賀市谷山の船原古墳ですばらしい馬具の発見があった。これは日本の古代史を変えるきっかけになるのではないかととも言われており、将来的には国宝になるのではないかと考えているところだ。もしそうなった場合、この歴史資料館で良いのかという問題がある。船原古墳周辺の土地は一応市でおさえることにしているが、そこに保管の建物を建てるかというところが離れてしまうと、いろいろ問題点もあり、またやるとしたら非常に長期的な話になる。しかし構想としてはそういうものが必要だろうと思っている。サンフレアこがのギャラリーは市民へ開放しているが、新研修棟の市民ギャラリーとの関連もあり、リーパスプラザとあわせてどううまく使うか、歴史資料館を今後どう発展させていくかなど、これからご意見をいただきながら長期的な構想を考えていきたいと思っている。2年間よろしく願いたい。「将来的にどうするか」という楽しい明るい協議の内容になっていければと思っている。出来る、出来ないは別として。行政としてはできるだけそれにそってやっていかなければならないと思っている。よろしく願いたい。

(事務局):教育長につきましては、この後の公務の都合により退席させていただく。【教育長退席】

(事務局):続いて協議に入らせていただく。

「古賀市複合文化施設運営協議会設置規則」教育長の挨拶にもあったが、この運営協議会は、サンフレアこがが、1階の図書館と2階の歴史資料館の全体の円滑な運営を行うための事業内容などを含めて皆さんのご意見を賜るため設置している。任期は2年となっている。くわしくは「古賀市複合文化施設運営協議会設置規則」ならびに「古賀市複合文化施設条例」「古賀市複合文化施設条例施工規則」を、ご一読願いたい。続いて会長、副会長の選出に移らせていただく。「協議会設置規則」第5条により、会長、副会長の選出は皆さまから互選になるが、どなたか推薦または自薦される方はおられるか。もしよろしければ事務局にご一任いただければと思うがいかがか。それでは拍手もいただいたので、事務局から提案させていただく。

現在、生涯学習ゾーンの整備が進められているところである。今後、複合文化施設の運営も、生涯学習ゾーン全体の運営に関わっていくところもあると思われるので、複合文化施設運営協議会に継続して意見を掌握していただいている松田委員さんに会長をお願いしたい。副会長については前回に引き続き、加藤委員さんをお願いしたいと思うがよろしいか。それでは拍手多数いただいた

ので、承認とさせていただきます。

2. 会長あいさつ

(会長) :ただいま選任いただいた松田でございます。ご出席のメンバーを見ると、立派な方々の中から選出させていただいて大変荷が重いと感じ緊張しているが、このすばらしいメンバーの方々に支えていただきながら、26・27年度の任期をつとめさせていただきたい。よろしくお願いします。

(副会長) :加藤です。会長と同様、非常に重責を感じている。多くの経験とお知恵をお持ちの皆さんの中で自分に何ができるのだろうかと思うが、皆さんと一緒にこの会議が帳面消しにならない、有意義な会議になるようにしていきたいと考えている。よろしくお願いします。

(事務局) :これからの議題については、議長に一任する。

(会長) :さっそくお手元の会議次第にそって詮議をさせていただきたいと思うが、先ほど教育長さんからご挨拶があったとおり、この協議会は明るい展望を持って前向きにすすめていきたい。ご協力をお願いします。平成25年度事業実績について事務局より説明をお願いします。

(事務局) :歴史資料館係から報告をさせていただく。お手元の配布資料別紙ナンバー1、1ページから。平成25年度の歴史資料館事業については、主に自然史歴史講座と企画展について報告をしたい。自然史歴史講座は年間5回開催している。郷土古賀の史跡に目を向け探訪するという視点から、第1回は、6月に鹿部山周辺の史跡を現地学習している。第2回は、8月4日に「古賀の近代化はここから始まった一路傍の石碑、先人の知恵に学ぶ」と題して古賀郷土研究会会長植田さまにご講演をいただいた。第3回の8月20日、21日の2日間については、夏休み子ども企画として「永浦古墳から出土した盾庇付冑をつくろうーレプリカ作り」に取り組んでいる。第4回の10月10日には、「装飾古墳を見に行く」ということで現地学習を行った。これは、今話題を集めている船原古墳が装飾古墳ということで、「代表的な装飾古墳を学ぶ」というテーマで筑紫野市とうきは市の2箇所を訪ねた。第5回の11月には「唐津街道をたどろう」ということで新宮町の太閤水から赤間宿までを散策した。

企画展は、7月26日から8月25日までの間「石碑のつぶやき^{いしづみ}」と題して古賀市内に点在する記念碑や顕彰碑など紹介する企画展を行い、述べ1407人のご来場をいただいた。船原古墳については、後ほど歴史文化財係長からご報告する。2ページには年間を通した活動について記載している。簡単だが以上報告とする。

(会長) :ありがとうございました。

(事務局) :資料がなく口頭で申し訳ない。ご存知のとおり昨年3月に船原古墳埋納坑が発見された。非常に高価な当時の馬具がそのままの形で大量に見つかったということで、珍しくトップ扱いで新聞等でも掲載されている。その後1年間かけて調査を進め、出土した馬具については基本的には全て掘り上げを完了している。今年度は、残ったものについては現地で調査を、出土遺物については九州歴史資料館で整理を進めているところだ。資料はないが、報告とさせていただきます。

(会長) :ただいま歴史資料館事業、関連して船原古墳発掘の件について、報告があった。続いて図書館事業報告についてお願いします。

(事務局) :引き続き平成25年度図書館事業報告をさせていただく。資料番号1番の3ページをご覧ください。4月5日「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」では、財団法人文化産業振興財団がトラックいっぱい本を乗せて来館され、おはなし会をされた。参加人数78人だった。続いて4月

21日「2013 子ども読書の日イベント」として、科学あそびやしおり作り、おはなし会などを、講師にこが語りの会、古賀子どもの本の交流会の皆さんにご協力いただき開催している。6月は読書ボランティア講座を3回に分け開催している。第1回はこが語りの会の皆さん、第2回は児童書専門店「からすのほんや」主宰芳野仁子さん、第3回は古賀子どもの本の交流会の皆さんに講師としてご協力いただいた。7月はおはなし会スペシャルを開催し、古賀市内の6つの地域文庫さんに、1時間ほどいろいろな演目をしていただいた。102名の子どもさんの参加があった。8月1日、2日、7日には、3日間にかけて学校教育課主催のリーディング・リーダー・プロジェクトの研修に協力した。図書館でも小中学校のリーディング・リーダーの研修を担当しており、昨年度は「調べる学習」に重点を置きながら市立図書館の資料を使って調べる、まとめる、発表するという研修を行っている。出来上がったものについては学校に持ち帰り活動していただく。9月は、4回に分けて布の絵本講座を、布の絵本ボランティアつくしんぼの皆さんに講師としてきていただいた。今回は、「いただきます」というタイトルの触って楽しむことができる布の絵本作りの講習を行った。同じく9月には、熊本県立大学名誉教授、重松裕巳先生においでいただき「古典文学講座・百人一首の世界」を全3回で開催した。こちらは、15年近く、毎年講師に来ていただき大変人気のある先生である。10月25日から11月3日には、第18回図書館まつりを開催した。10月23日に読書講座「文学散歩：豊前戦国歴史悲話」を、講師に加来正熙先生をお招きして開催した。期間中、ギャラリーでは第56回読書感想画コンクール優秀作品展、ロビーではブックリサイクルを開催している。10月27日は「じごくのそうべえからいま」と題して絵本作家田島征彦さんをお招きし読書講演会を開催している。11月には、子ども一日図書館員で6名の子どもさんが図書館業務の体験していただいた。3日は映画会スペシャルを開催している。

2月1日は市内8小学校の親子読書会会員が参加して、第45回古賀市親子読書のつどいをリーパスプラザ大ホールにて開催している。360人の参加だった。3月は、蔵書点検を行った。定例のおはなし会については、後日出す要覧にて人数等の報告をさせていただきたい。以上報告とさせていただきます。

(会長)：平成25年度の事業実績について報告があったが、何かご質問等はないだろうか。

(委員)：11月2日の「子ども一日図書館員」事業はおもしろいと思う。活動の内容をお聞きしたい。

(事務局)：図書館の事務室、閲覧室を見学し、仕事内容や図書館事業をについて子どもたちにわかってもらう。そして実際に図書館の仕事を体験していただく。カウンターでの貸出しなど利用者ともふれあったり、おはなし会などの行事があるときには参加したりと職員の仕事を体験し、しっかりと読書活動にも触れてもらう。今後更なる図書館への興味、理解を深めていただくようになればと思っている。

(委員)：6名というのは公募か、それとも各小学校の代表なのか。

(事務局)：応募を受け付けている。各学年1名ということで募集しているが、例年好評で定員を上回る応募の中から厳正な抽選で選ばせてもらっている。学校の推薦ではない。

(委員)：何年もされているのか。

(事務局)：何年も前から実施している。

(会長)：他の方はないか。継続の委員の方は3月に説明を受けているので、新しい委員の方でご質問があったらお願いしたい。特に歴史資料館、船原古墳についてなどいろいろお聞きしたいことがあれば願います。ほかにご意見等ないか。平成25年度事業実績報告についてはご了承いただ

いたということで、次に進めさせていただく。4 番目の平成 26 年度事業計画について事務局より
願います。

(事務局): 歴史資料館係から説明させていただく。資料ナンバー 2 の資料をご覧いただきたい。自然史歴史
講座は例年同様 5 回実施する。今年度の講座はNHK大河ドラマ軍師官兵衛の放映にちなんだ
学習を第 1 回、第 4 回に、船原古墳埋納坑に関しての学習を第 2 回、第 3 回にと考えている。
また、歴史資料館開館 20 周年を迎えるので、第 5 回でパネルディスカッションを行う。第 1 回の
講座は、黒田藩居城であった福岡城址と黒田家の墓所がある崇福寺を 5 月 21 日に訪ねた。応
募者 64 名で、抽選で 40 名を選出した。今、福岡城に「むかし探訪館」という施設ができており、
タブレット端末の貸出しやガイド説明があり、タブレットに天守閣や櫓などがCG画像で再現される。
福岡城址は身近な場所ではあるが、詳しく福岡城の歴史がわかるということで非常に好評だった。
第 2 回の講座は、6 月 1 日に講演会を行う。船原古墳から出土した馬具とそこから見えてくる古
代の国際交流について、埋納坑発掘のご指導をいただいている福岡大学の桃崎祐輔先生より、
持論を交えながらご講演いただくことになっている。第 3 回は「さまざまな馬具を見てみよう」という
テーマで、九州管内の装飾古墳について紹介されている大塚装飾古墳館(桂川町)を訪ね、その
後、馬具の解析調査をお願いしている九州歴史資料館を訪ねることになっている。これもすでに応
募があり、39 名のご参加ということになる。第 4 回は、9 月 27 日に「薦野増時の軌跡をたどる」と
題して、立花道雪や、黒田家の家臣として活躍した薦野増時の関連史跡を訪ねる。第 5 回の講
座は 11 月 16 日に、歴史資料館 20 周年をむかえることからパネルディスカッションを考えている。
歴代館長にご登壇いただき、歴史資料館のあゆみと今後の役割というような内容になるかと思う。
7 月 18 日から 8 月 31 日まで、ゴジラやラドンなどの東宝の特撮映画全盛期を支え世界的にも有
名な美術監督で、古賀市薦野出身である井上泰幸さんの企画展を開催する。ギャラリーで 37 日
間の開催になる。3 月初旬にご遺族から、残された数々のジオラマなどの作品や、アルミ彫刻家
である奥様の作品も数多くご寄贈いただいているので併せてご披露したいと考えている。また企
画展に合わせ市民の皆さんの力でイベントを開催していこうということになっている。今「進撃の巨
人」という映画が話題をよんでいるようだが、こちらに関わられている三池敏夫監督をお招きし、8
月 23 日にリーパスプラザを会場にトークショーの開催準備が実行委員会のほうで進められている。
他にお子さんを対象としたジオラマ作りのワークショップを 3 回計画している。また企画展の監修
を三池監督をお願いしているところである。20 周年のパネル展、船原古墳遺物埋納坑の発掘情
報パネル展も開催する。広報媒体等を使って市民の皆さんに取り組みの紹介をしていきたいと思
っている。また、刊行物としては歴史のある馬具などを紹介していく予定である。例年、小学生の
見学を行っているが、主に小学 3 年生が授業の一環として、「身近なわたしたちの暮らし」「昔の
暮らし」に視点をおき、資料館に展示している民具や農具を見学されている。このような見学に対
応していきたいと思っている。

(事務局): 文化財係では、資料はないがメインとして船原古墳遺物埋納坑の調査を行う予定である。今年度
は隣にある船原古墳の再調査をメインに進めていく予定である。その他、現在、埋納坑をお見せ
することはできないが市民の方に興味を持っていただきたいということで、遺物が出てきた状態の
模型を作る予定としている。主な事業は以上である。

(会長): 続いて図書館事業計画について願います。

(事務局):引き続き26年度図書館事業計画について説明させていただく。資料番号2番の3ページ目をご覧ください。今年の事業として去年と大きく変わっているのが、図書館まつりで、4月と10月に2回計画している。春は、4月19日、20日の2日間の日程で、19日は「古賀東小学校ぐりとぐらの会」の皆さんをお招きしておはなし会、20日は『やってみよう！子ども科学実験』と題して、福岡教育大学伊藤克治先生をお招きし視聴覚室、ギャラリーを使い子ども読書講座を開催した。合間にはしおり作り、絵本作り、雑誌のブックリサイクルを行った。6月は読書ボランティア入門講座を全2回で開催した。例年「布の絵本作り講座」を開催していたが、これと「ボランティア講座」を合わせた内容で、第1回はやかまし村の主宰者、上村篤子さんをお招きして「絵本の読み聞かせの基礎と読書ボランティアの心構え」という内容で開催している。続いて6月下旬の第2回は「布の絵本製作ボランティア つくしんぼ」をお招きして、黒い軍手を材料としたおはなし会の小道具作りを行っている。この第1回、第2回を通じ読み聞かせの基礎などを学んだ上で、実際に作った小道具を活用してもらえないだろうか、ということで今回の講座を開催している。また6月という早い時期に開催することで、今年のボランティアで活用してもらえるのではないかとということで組ませていただいた。7月20日には地域文庫によるおはなし会スペシャルを開催する予定で、ご案内をしているところだ。7月下旬から8月上旬にかけては、古賀市小・中学校読書リーダー活動推進事業(リーディング・シーダー・プロジェクト)を行う予定である。日程が7月30日、8月7日、8日に変更になっているが、学校教育課との協議が必要となっていることから、日程等がずれたり内容についても現在協議中で進めたりしているところである。今回は校区ごとに別れて研修する。8月19日、20日に夏休み子ども図書館員をいれているが、夏休み中に、事業ではないがインターンシップや教職員の研修、中学生、高校生の職業体験等を受け入れる関係から、日程がずれるのではないかとと思われる。取り組めるように進めたいと考えているが、今の段階ではこの日程で出させていただいている。9月は、重松裕巳先生をお招きして「古典文学講座」を全3回で計画している。10月は例年行っている図書館まつりを「開館20周年」をからめて計画している。今回は読書講演会に絵本作家田島圭三郎さんをお招きする。12月21日の読書講座には、「文学を取材する日」と題して講師に西日本新聞社記者の塚崎謙太郎さんをお招きする。1月31日は第46回古賀市親子読書のつどいを開催する。月例行事として、どようおはなし会、赤ちゃんおはなし会、小さい子のおはなし会、また子ども映画会、名画会の事業を行っているところである。以上が、今年度の図書館事業計画である。

(会長):ありがとうございます。平成26年度の事業について、それぞれ詳細にご説明いただいたがご質問はないか。新しい委員の方よろしいだろうか？

(会長):質問ではないが、歴史資料館の展示のことを外部の方から聞いた。とても早く情報が流れているようで、盛り上がるのではないかと、期待している。

(事務局):ご遺族からご寄贈いただいたことは新聞報道にもあげられており、その中で7月、8月の期間に企画展を行うことが流れている。皆さんに楽しみにお待ちいただいている、多くの来場が期待できると思う。よろしく願いたい。

(会長):ありがとうございます。詳細にご説明いただいたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

(委員):図書館のほうだが、今年、第19回、20回と図書館まつりが年に2回されることは素晴らしいと思う。私は宗像市に住んでおり比べるとというのは変ではあるが、本当にレベルが高い。全体の内容もそうであるし、各小中学校の取り組み、それに今日もいらっしやっている地域の方々の支援、意気

込みがある。地道な取り組み等を各学校、地域文庫、市立図書館でされていることが非常によくわかる。図書館まつりも年に2回取り組まれているということ、4月は子ども読書の日、図書館記念日との関係だろうし、秋は読書週間があるのでタイムリーでいいのだろうし、市民、地域あげて、そして各学校の取り組みがあるからこそできている。それが進めばまた地域、子どもたちの地域での生活、各学校での読書活動につながっていくということがスケジュールを見るだけでよくわかる。レベルの高さをものすごく感じる。なかなかここまでできない。感想みたいなことをいつてしまったが、去年は田島征彦さん、今年は手島圭三郎さん、すばらしい絵本作家をお呼びできること自体がびっくり仰天。田島さん、手島さん、なかなか簡単に呼べないのだが。予算のこともあるのだろうが、「やるんだ」という意味と「やれるんだ」という意味とを持ち、要望や機運、読書意欲、あるいは読書活動の充実があるからこそできることだと思う。感想だが。

(会長) : ただいまの委員の発言に対して、事務局で何かコメントはあるか。

(事務局) : 今年図書館館長として就任したばかりだが、古賀の読書活動はすばらしいと感心しているところだ。

(会長) : これからも委員の方のご意見をいただきながら、ますます充実させていただきたい。他にないか。

(委員) : 歴史資料館事業計画だが、昨年度の夏休み期間中の子ども参加の講座(胃のレプリカ作り)は、自分が勤務している中学校の子どもが参加しわざわざ見せに来るほど、とても良かったようだ。今年度は子どもの講座はないのかと調べてみていたのだが、企画展の期間8月23日の三池監督のトークショーは子どもでも聞ける内容だろうか。

(事務局) : 昨年度、初めて子ども向けの講座を開き好評いただいた。参加人数は少なめではあったが、ご参加いただいた方、周辺の方々からはご好評いただいている。いい取り組みということでぜひ26年度もできないかと考えていたが、言い訳がましくなり申し訳ないが、井上泰幸展が例年の企画展の規模を大きく上回る準備が必要だということもあって、夏休みの企画の中には、残念ながら今年はいれられていない。ただありがたいことに市民の皆さんの実行委員会が7月から8月にかけて、子ども(小学5,6年生対象)のワークショップ(ジオラマ作り)に取り組まれているところで、募集活動も始まると思う。これは、小学校を通してお知らせをしたり、地域の皆様のお力をいただいたりするようになると思う。よろしく願いたい。

(会長) : ただいまのご説明でよろしいだろうか?他にないだろうか。

(委員) : ぜひ参加したいパネルディスカッションが、まつり古賀と同一日だが。

(事務局) : 同じ日に大きなイベントと重なったのは申し訳ない。再度調整できるかどうかも含めて、早いうちにお知らせしたいと思う。

(会長) : よろしいだろうか。他になければ、一応これで予定の議事は終わりとする。その他の審議事項について事務局から願います。

(事務局) : 事務局より、生涯学習センター及び周辺施設整備事業について報告させていただく。別紙の資料は、古賀市のホームページに掲載されている内容で、2枚目中ほどにあるように、生涯学習センターについては、本年度の秋ごろから本体工事になる。平成27年度には、サンフレアこがの図書館の一部増床、LED・空調改修工事、生涯学習センターとサンフレアこがとの接続工事を予定している。この工事により、閉館しなければならない時期があるが、閉館期間が短くなるよう、利用者の皆さんになるべくご迷惑がかからないよう、工夫しながら行っていくこととしたいと考えている。今の段階では、詳しい閉館の時期等わかりかねる状況にある。委員の皆さんには、状況をお伝えしていきたい。今後、生涯学習センターとサンフレアこががつながり生涯学習ゾーン計画として進め

られることにより、サンフレアこがの運営についても検討する必要がある。委員の皆さんにご意見を賜ることになるので、どうぞよろしくお願ひしたい。3 ページ目の図面は、研修棟、サンフレアこがの 2 階部分だが、階段のところが連結する形である。2 階でつながり、1 階は、2 ページ目を見ていただくと、玄関を出たところで大庇がつながっている。このような状況になるので、今後も皆さんに情報提供させていただきたいと思う。

(会 長) : ご質問はないだろうか。このホームページの内容は工事の進捗状況など逐次更新されていくのだろうか。

(事 務 局) : 内容としては、これがある程度の形となると思う。更新という形では聞いていない。実際、工事を行っているのは生涯学習推進課になるので、申し訳ないがこちらでは更新予定であるとしかお答えできない。

(会 長) : 工事期間に施設が使えるかどうかなどの状況を知りたいときは、どこに訊けばいいのか。

(事 務 局) : 全体的には、グラウンドは工事ヤードになるので使えないこととなる。また一部駐車場も。生涯学習推進課のほうで把握はしているが、駐車場に関しては、必要台数は確保できる予定とは聞いている。最終的にできあがった時には、今以上の台数の設定はしている。

(会 長) : 工事途中の問い合わせはできるのか。作業状況などは。

(事 務 局) : 進捗状況についてはこの席でも随時お知らせしたいと思うし、問い合わせはその都度サンフレアこがの方に連絡いただければお知らせする。

(会 長) : 提示できるのですね。他にないだろうか。

(事 務 局) : 生涯学習推進課「第 1 回古賀市生涯学習 笑顔のつどい」のお知らせ、説明を加藤委員より願ひする。

(委 員) : 社会教育委員は 10 名で毎月 1 回会議を行っているが、数年前から社会教育に関わる方々の横のつながりをつけたいという話をしてきた。どうしても個々の活動になり他の団体の活動が見えてこない、古賀市では福祉ボランティアと社会教育ボランティアのつながりができていないという課題があるという、話が出ていた。26 年 3 月に第二次生涯教育計画が策定されたが、これを機会に 6 月 15 日に生涯学習に関わる方々が集まってつどいをしましょう、というのが趣旨になる。参加者は福祉関係のボランティア団体で、いろいろな方々が参加されるのでぜひいらしてほしい。質問があればここでお受けする。イメージがわきにくいのではないと思うが、百聞は一見にしかず、ぜひご参加をお願ひしたい。私たちもどうなるか不安な面もあるが。橋本先生もご参加される。

(会 長) : グループでも個人でも参加できるのだろうか。参加していただきたいということなのでよろしく願ひする。ご質問はよろしいだろうか。事務局からはないか。委員からはないだろうか。

(委 員) : 協議会は何回あるのか？

(事 務 局) : 審議が終了した後説明する予定だったが、ここで提案させていただく。

8 月に要覧が完成するのでその前に目を通していただき、また次年度の事業についてのご意見も聞かために、次回は 8 月を予定している。8 月に、また次回の日程を決めさせていただきたい。今年度については年に 3~4 回開催させていただきたいし、協議内容が増えれば回数を増やしていく必要がでてくる。

(委 員) : 新しい施設の工作室で火気は使用できるか。今年の初夏に「古賀子どもの本の交流会」で小泉先生に来ていただいて科学実験をしたが、とても好評で参加者数も多い。古賀市で親子の科学遊び等開催しているが火が使えない。私たちも毎年開催したいと思っている。

(事務局):陶芸教室はある。ご指摘いただいたことで、火が使えるかということを協議の際に出したいと思う。
ご期待に添えないかもしれないが。

(事務局):陶芸の方だけでなく、いろいろな方が広く利用しやすい部屋をということで考えているということだ。

(会長):ご意見としてあがっているのでよろしくお願いいたします。全体で他にないか。それでは、つたない進行でしたが、今後、市民のための文化施設の運営協議ができるように貢献していきたいと思う。

(事務局):ありがとうございます。事務連絡として、今回は8月上旬を検討しているがご都合はどうだろうか。
8月18~22日あたりで、いかがだろうか。

(事務局):ご都合がよければ、今回は8月27日(水)13時30分開始でお願いしたい。

(事務局):今日は皆さん、ありがとうございました。いろいろなことをここで協議していただいて、私どももいい事業を進めたいと思うので、今後ともよろしくお願いいたします。それでは26年度第1回古賀市複合文化施設運営協議会を終わります。